

## 株式会社ユニテッドアローズ 2021年3月期第1四半期 決算説明会 質疑応答集

この質疑応答集は、8月5日(水)、6日(木)に開催したマスコミ向け、アナリスト・機関投資家向け決算説明会にて、ご出席の皆様からいただいた主なご質問をまとめたものです。理解促進のために一部内容の加筆修正を行っております。

### Q. 通期予想の売上総利益率はどのような見立てになっているのか知りたい。

A. 第1四半期の売上総利益率の減は、主に新型コロナウイルス感染拡大に伴う実店舗の休業によるものです。販売チャンネルがネット通販に限られる中、春夏商品の在庫消化を図るために通常よりもセールを前倒しでスタートしており、特に4月、5月の売上総利益率が前年よりも大きく悪化しました。第2四半期以降は実店舗の営業を継続できる前提で考えています。秋冬商品の在庫調達をコントロールしてセール販売を抑制する見込みであることや、前年の第4四半期に新型コロナウイルス感染拡大の影響で売上総利益率が悪化したことの反動もあり、下半期については前年水準かやや下回る程度で見えています。

### Q. 通期予想には販管費の抑制はどの程度織り込まれているか？

A. 売上の減に伴う変動費の減は織り込んでいますが、固定費については大きな調整は入っていません。今後の動向を見ながら調整していく方針です。

### Q. 現段階での在庫の過剰感は？今後の消化見込みを知りたい。

A. 第1四半期末時点での在庫の中身を見ると、今春夏商品が重たくなっています。春夏はコロナ禍になる前に調達計画を立てていたため、実店舗休業の影響で特に春物の消化が遅れています。夏物については8月以降のセールで消化を図りますが、来期に持ち越す在庫も出てくると見えています。秋冬商品については前年の8掛け程度の調達に抑えており、今後の状況を見て追加発注をかけていく方針です。暖冬を前提とした商品計画を組んでおり、アウター在庫の抑制、中軽衣料の強化、シーズンレス商品の投入を予定しています。

### Q. 通期の出店計画が開示されていないが、今後出店は抑制するのか、閉店を増やしていく方向か？

A. 出店の決議は半年から1年前あたりに行うため、第1四半期の段階では出店を行いました。第2四半期以降も当初の想定から大きな変更はないものの、一部見直したものもあります。退店については、今後不採算店舗の精査を進めます。店舗単体の収益性だけでなく、エリア内での店舗のあり方なども考慮しながら進める方針で、そこがまだ確定できないため、現段階では今期の出退店計画は非開示とさせていただきます。来期以降の出店はかなり厳選していく見込みです。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、立地の優位性などが今度変わっていくと思われれます。大手ディベロッパーとも情報交換しながら、今後の出店は検討します。



Q. コロナ禍を受けて、自社 EC サイトの自社運営化のタイミングを早める予定はないか？

A. コロナ禍を踏まえて実店舗とネット通販の役割も大きく変わってくると見ており、当初の想定から一部見直しも必要になると考えています。自社運営化の前倒しというよりも、アフターコロナ、Withコロナを見据えた追加策を織り込んでいく方向性です。

Q. 前期末から借入金が大きく増えているが、コロナ禍を踏まえて手元資金を厚くするという考え方はか？コミットメントラインや当座借入枠の拡大は検討しているか？

A. 第 1 四半期末の借入金が増は、主に 4 月、5 月の実店舗休業に伴うキャッシュインの減を補うものです。今後については既に当座貸越枠の増枠も済ませており、現在開示している業績予想のレンジを大きく下回る状況にならない限りは、手持ち資金の懸念はありません。

以 上